

(別表第1の4)

事業所名 グループホーム桃太郎

目標達成計画

作成日: 平成 22年 10月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けに取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	26	ケアプランに沿った介護の実践につき、連動した記録が不十分である。毎月定期的にもしくは随時カンファレンスが実施され、計画が見直されているにもかかわらず、それを実践に繋ぎやすくするためにも、記録の見直しが必要。	ケアプランに基づいたケアの実践を心掛け、プランに連動した日々の記録を残す。	認知症介護実践者研修受講時や、相互研修にて、他施設の取り組みにつき情報を収集する。他施設の取り組みを参考に、当ホーム独自の様式や記録方法(誰が、いつ、どのように記録するか等)をスタッフ会議で話し合い決定する。	6 か月	9月21日のスタッフ 会議において様式や記録方法を決定し、10月1日より記録開始。各利用者のケア目標を意識して利用者本位のケアの実践ができつつある。
2	33	看取りに関しては、職員全体に消極的であり、医療機関の協力体制も充分確立できているとは言い難い。研修やマニュアルも不十分である。	看取りの要望があった時に備えて、職員全体のターミナルケアへの心構えや知識・技術の向上を図る。また同時に、医療機関との更なる協力体制確立も、どのように行えば可能となるか模索し、実現に向けて努力する。	看取りに関する資料を集め、マニュアルを作成する。研修に参加し、参加者より職員全体に伝達講習を実施。意識を向上させる。運営推進会議において、参加者より意見を収集し、将来要望があった場合に備える。	12 か月	8月末にマニュアルを完成させ、9月19日開催の運営推進会議において議題とする。参加者の中には在宅での看取りの経験者もあり、大変有意義な意見を聞く事ができた。また、行政からは、主治医変更も選択肢の一つと考え、終末期には往診が可能な医療機関に紹介してもらうという方法での対応を提案して頂き、一歩前進できた。
3	35	月に1回の施設内避難訓練と、年2回消防署の監修による防火訓練が実施されているが、現在のところ夜間や重度化を想定した訓練が実施されていない。	夜間や重度化を想定した防災訓練を実施し、緊急時に備える。	段階を踏んで色々な想定で訓練を計画し、万一の災害時に備える。また、地域の協力体制を更に強化し、被害を最小限にできるよう努める。	12 か月	9月19日の運営推進会議において、地域の方に協力を呼び掛け、11月に実施予定の消防署監修による防火訓練に活かす。
4					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()